

# Webport BR410/BR410VPN 機能向上

## 【機能追加】

<機能1> WindowsXP とWindows98 の間で NETBIOS の共有をネットワーク越しに実施した場合に対応できるようにしました。

TCP/SYN パケットに対するファイアウォールの代理応答を手動で切り替えできるようにしました。ファイアウォールのデフォルト設定では、PUBLIC PRIVATE インターフェース間のTCP セッション確立時にTCP/SYN パケットの代理応答を行いますが、一部のアプリケーションではこの動作 (代理応答) によって矛盾が生じることがあります。

次のコマンドを使うことで、TCP/SYN パケットの代理応答を行わないよう設定することができます。デフォルトでは代理応答を行います。

代理応答OFF	:DISABLE FIREWALL POLICY=policy TCPSETUPPROXY
代理応答ON	:ENABLE FIREWALL POLICY=policy TCPSETUPPROXY

代理応答ONにした場合、いったん無効にした代理応答を再度イネーブルします。

<機能2> 本体の動作負担の軽減措置を行います。

レンジ NAT (P NAT) の TCP Session timeout を 24 時間から 60 分に変更しました。

<機能3> ISP や、異なるルータとの接続において矛盾した情報受信の許容を拡大しました。

PPPoE インターフェースにおいて、LCP Echo Reply パケットの PPPoE payload length フィールドと PPP length フィールドに矛盾があっても、有効な LCP Echo Reply であると認識するようにしました。

## 【機能改善】

### OSPF

- OSPF 機能において、代表ルーター (DR) がダウンすると、関係のない Stub Network 情報の Link Update が必ず送信され、経路情報の書き換えが行われてしまうという事象を改善しました。
- リンクアップ/ダウンが発生するタイミングで OSPF 機能が停止することがあるという事象を改善しました。

### インターフェース

- PPP インターフェースが UP しているにも関わらず、PRI インターフェースの fOperStatus が DOWN と表示されることがある事象を改善しました。
- ルーター起動時に、Ethernet インターフェース (eth0) のリンクが DOWN していることを IP モジュールが認識できないという事象を改善しました。
- ルーター起動直後の短い期間、VLAN インターフェースから送信されるべきパケット (OSPF、RIP など) が破棄されてしまうため、最初のパケット送信時期が遅れてしまうという事象を改善しました。

### ファイアウォール

- ファイアウォール機能イネーブル時、本製品のリアルタイムクロックが AM 00:00:00 頃になると TCP セッションが切断されることがあるという事象を改善しました。
- ファイアウォールにおいて、TCP SYN および SYN + ACK パケットのウィンドウサイズを常に 1024 に変更していたため、無意味なフラグメントが発生していましたが、ウィンドウサイズを MSS (636) に合わせるようにしたことにより、この事象を改善しました。

8. ファイアウォールルールの設定において、ポート番号を「PORT=ALL」のように指定すると「PORT=85-65525」として扱われるという事象を改善しました。
9. マルチホーミングが設定されているインターフェースに対してファイアウォールNAT を適用すると、IP アドレスによって NAT の動作に違いが生じるという事象を改善しました。
10. ファイアウォール機能イネーブル時、RTSP パケットをルーティングするとリポートする場合がありますという事象を改善しました。
11. ファイアウォール使用時に、日時の変更によってセッションが切断されることがあるという事象を改善しました。
12. ファイアウォールの UPnP 機能を有効にすると、内部バッファークが枯渇し通信ができなくなるという事象を改善しました。

#### IPsec

13. IPsec 通信時に意味不明のデバッグメッセージが表示されるという事象を改善しました。

#### IPv6

14. IPv6-over-IPv4 トンネリング環境において、IPv6 ルーティングテーブルに経路情報が登録されないという事象を改善しました。
15. 「SHOW IPV6 COUNTER」コマンドによって表示される OutMsgs 値が OutRouterAdvert の値を含んでいないという事象を改善しました。
16. Listen していないポート宛での IPv6 TCP SYN パケットを受信してもRST+ACK を返信しないという事象を改善しました。
17. VLAN インターフェースの IPv6 MTU が 1280 になる事象を改善しました。
18. PPP インターフェース、または VIRT (IPv6-over-IPv4 トンネル)インターフェース側の IPv6 ノードに対して「PING」コマンドを実行してもパケットが送信されないという事象を改善しました。
19. すでに他のインターフェースに設定されている IPv6 ネットワークアドレスをVIRT (IPv6-over-IPv4 トンネル)インターフェースに設定した場合、設定内容の表示が異常になったり、リポートしてしまうという事象を改善しました。
20. VLAN インターフェースが UP していないときに、「SHOW IPV6 INTERFACE=vlan1」コマンドの表示が一部不正になるという事象を改善しました。

#### その他

21. DHCP サーバー機能において、リレーエージェント経由で受信した DHCPREQUEST に対して DHCPNAK を返送するときに Broadcast ビットをセットしないという事象を改善しました。
22. ISDN コールバックを設定している場合、1 回の着信に対し3 分間に 4 回以上リダイヤルに失敗すると、それ以降の着信を全て拒否してしまうという事象を改善しました。
23. 「ENABLE PPP DEBUG」コマンドでデバッグオプション PKT」を有効にしても、本製品が送信する IP パケットデータの情報がコンソールに表示されないという事象を改善しました。
24. Gratuitous ARP Request に対応しました。
25. Unnumbered IP インターフェース上で RIP を使用すると、該当インターフェースからデフォルトルート情報が送信されないという事象を改善しました。
26. IP フィルターのエントリー数を増やしていくとスループットが低下するという事象を改善しました。
27. 「SET TELNET」コマンドで「LISTENPORT」パラメーターを繰り返し変更するとリポートすることがあるという事象を改善しました。
28. フラッシュメモリのコンパクション中に「SHOW SYSTEM」コマンドや「SHOW DEBUG」コマンドを実行すると、表示が一部不正になるという事象を改善しました。
29. 「ADD IP DNS」コマンドで「DOMAIN」パラメーターに「ANY」を指定するとエラーになる事象を改善しました。